



# with みやざき

## 宮崎銀行が商社設立

### 販路開拓や品質向上を支援

宮崎銀行（杉田浩二頭取）は30日、地域商社「with（ウィズ）みやざき」の設立を発表した。銀行単体による地域商社の立ち上げは全国的にも珍しく、九州初となる。

「Withみやざき」の久木田貴子社長と宮崎銀行の山田知樹営業部長（左）、小森園隆治地方創生部長ら幹部（同行本店）

設立は4日付。同行が100%出資し、資本金は5000万円。本社は宮崎市橋通東の同行本社地域創生部内に設置。宮崎銀行が仲介役となり、県や市町村、専門機関、多様な業界と連携しながら、地域の規模事業所・中小企業の販路開拓や商品の磨き上げを支援して報酬を得る。

その手始めとして、同行が運営する農業法人「夢逢いファーム」の高級アボカドの販路開拓をスタート。関西の三つ星料亭との交渉が進められており、さらなるマーケットの開拓を目指す。今後はECサイト（インターネット通信販売）も開設。県内外への発信で消費者獲得にも力を入れ、将来的には数億円規模の収益を見込む。宮崎銀行グループ初の女性トップとなる久木田貴子社長（地方創生部出向）は記者会見で、「まずは豊富な食材を誇る宮崎の特産品をアピールしていければ。地域の経済発展に貢献できるよう全国に発信していきたい」と力を込めた。